

瀬戸川だより



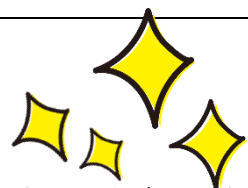
～瀬戸川で生きる。そして生きつづけたい。～

2020 年号 (第 17 号)

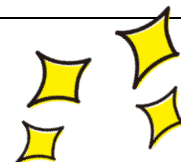
発行元
土佐町役場 企画推進課
☎0887-82-2450

○瀬戸コミュニティセンター
☎0887-72-9114

○南川会館
☎0887-72-9611



瀬戸川溪谷の紅葉県下で一番に



瀬戸川溪谷がイベント＆おでかけ情報サイト「ウォーカープラス」の（行ってよかった紅葉の名所ランキング）で高知県の一位を獲得しました。昨年は土佐れいほく博の効果もあり、県内はもとより県外からも多くの方がここ（瀬戸川溪谷）を訪れ、中でもツアーの集客も多く、瀬戸川溪谷の魅力（秘境）で癒されていました。受け入れたツアー（令和元年10月～11月）も22団体を数え、ツアー客だけでも500名を超える盛況ぶりでした。徳島からツアー客の方には「吉野川の上流にこんな綺麗なところがある」と驚いた様子を見せてくれた。ネットの情報で瀬戸川溪谷の魅力が発信されるにつれ、これからも多くの方に楽しんでいただければと思います。



瀬戸川ロマン「おせったい」

11月9日（土）、瀬戸ツリーテラス前広場にて、瀬戸川地域を応援するボランティア団体「瀬戸川ロマン」が、瀬戸川溪谷の紅葉を見に来た観光客を、猪汁やおにぎりでお接待しました。

県内外から来たお客さんは、思わぬお接待に、「え？うれしい！！ここでご飯を食べれるとは思わなかった。とてもおいしい！」「バイクで来て冷え切ってたところだったのでお汁がありがたい。心も体もあったまりました」などたくさんの声掛けをいただいていた。瀬戸川ロマン代表の藤田光三さんも「初めての試みだったがやってよかった。こんなに喜んでくれてうれしい。来年も続けてやりたいねえ」と話していました。昨年2月に団体が立ち上がった瀬戸川ロマンはこれまで、瀬戸川溪谷までの案内板や、おすすめの観光スポットへ手作りの看板を設置したり、あめがえりの滝付近へ紅葉の苗木植樹などの活動を行ってきました。

嶺北高校のクラブ、嶺北ユースナイバース(通称 RYN)は、れいほく博に合わせて嶺北のお土産を作ろうと商品開発を、地元スーパーの(株)末広さんと昨年度末より約1年かけて行ってきました。出来上がったのは嶺北の食材をふんだんに使ったピザ3種類。この日の時点ではまだ商品化される前でお披露目となりました。お客さんは「おいしい!」「一つ欲しいけど家に買って帰れるの?」など、大変好評でした。これから末広ショッピングセンターの商品の一つとして販売が始まるそうです。ぜひ1度食べてみてください★



藤田光三さん♪



ふゆ しごと

2020年が明けてひと月が過ぎましたが、皆様いかがお過ごしですか。
瀬戸川だよりも早いもので5年目に入りました。
今回は視点を変えて冬場の仕事と家の行事をまとめて[ふゆしごと]でご紹介します。



『瀬戸川溪谷流域の観光を進めるにあたって』
瀬戸川溪谷流域は、相川地区の棚田風景とともに土佐町が誇る美しい景観地です。この素晴らしい自然景観美を通しての観光を交流人口の拡大へと繋げていき多くの町内外の方々に瀬戸川地域に関心を持ってもらうことで少しでも地域の保全活動に結びつけていければと思います。
今までは、残念ながら物見遊山の通過するだけの観光になっており、それでは地域の交流人口の拡大へとは結びつけないのが現状です。そこで観光客の皆さんへ地域経済波及効果の取組を行うことを地域交流の場として活用していければとの思いから、今年の紅葉シーズンに土佐れいほく博期間中ということもあり急遽、団体ツアーのお客様に地元おもてなしガイドと地元直販市や山里弁当等の有料サービスの仕組みを提供させていただきました。お客様からは、「ガイドさんのご案内が楽しく瀬戸川溪谷遊歩道が素晴らしい」と反響をいただき、直販市の地元産品のお買物も大変喜んでいただきました。以上のような昨年度の結果から地域の受入れ体制が少しずつでも構築していければ瀬戸川流域地域のファンの増加と地域の活性化に結びついてゆくのではないのでしょうか。しかしながら、昨年度は地域の方々へのこうした取組のご説明とご協力をお願いが出来ておらずご迷惑をおかけしました。今年は昨年度の取組を再検討し、地域の方々にもご相談をさせていただいて紅葉シーズンの観光客の皆さんのより良き受入れ体制を考えていきたいと思っておりますのでご協力の程よろしくお願い致します。土佐町役場 企画推進課 島崎直文

2020年2月現在の人口など

南 川	人 □ 28人 世帯数 14世帯
下瀬戸	人 □ 10人 世帯数 7世帯
黒 丸	人 □ 28人 世帯数 16世帯

※ここでは実際に瀬戸川地区に暮らしている方々の人数等を載せています。(入院中の方を含みます)



「瀬戸川だより」に対する感想・お問合せはこちらへ！！

【南川】〒781-3742 土佐町南川 1224-2 南川会館 小林聖花宛て email: minagawa@utopia.ocn.ne.jp
【瀬戸】〒781-3337 土佐町瀬戸 658 瀬戸コミュニティセンター 岡林孝通宛て email: okabayashi@herb.ocn.ne.jp

「集落支援員のつぶやき」

冬の空を見上げて

夜空を見上げると三ツ星の並んだ冬の名物オリオン座が目に見え込んでくる。こいぬ座のプロキオン、おおいぬ座のシリウス、そしてオリオン座のペテルギウスこれをつなげると、冬の大三角形と呼ばれる。

だが、この見慣れた冬の夜空が見られなくなるといいます。オリオン座のα星とよばれる恒星で一等星のひとつ、地球から640光年離れたペテルギウスが最後をむかえようとしています、赤色から暗くなりそして青白く輝きだします。超新星爆発と言います。太陽の質量の10倍以上の恒星が大爆発を起こします。その姿は昼間でも見え、夜は満月の数倍明るく輝くそうです。人の一生と星の一生比べることができないかもしれませんが、星は一生を終えると新しい星の材料を生み出して使命を終えます。人も同じでそこに生きた証を残して、後生に伝えて、今の生活があると思う。

壮大な天体ショーは自分達が生きていく間には見えないかも？見えるかも？判りませんが(笑)小さなことからコツコツ頑張っていくしかありませんね！

瀬戸集落支援員 岡林孝通